

道徳だより



穴水町立向洋小学校

第2号

H30. 6. 20

2・3年生はこんな授業をしました

主題名「正しい行い」 親切 「わすれられないえがお」

2・3年生は、資料「わすれられないえがお」をもとに、勇気を持って自分が正しいと思うことを実行しようとする心について考えました。

☆あらすじ

せいこは母親とバスに乗ります。するとバスが乱暴に止まったことで、よろけて、となりにいたおばさんの足を踏んでしまいます。怒られるのが怖くてすぐには謝ることができないせいこ。それでも思い切って「ごめんなさい」というと、おばさんはみるみるえがおになってせいこに微笑みかけてくれるのでした。



この人はじぶんからあいさつをしています

まず、「正しい行い」とはどういうことか児童に聞いてみました。すると「自分から挨拶をする。」「友達を助けてあげる。」「友達と遊ぶときはちゃんと「まぜて」って言う。そして「いいよ」って言ってあげる。」「友達がけがをしたら保健室に連れて行ってあげる。」などがあがりました。

資料に移り、児童に「自分だったら謝りますか。」と問うと、全員が「謝ると思う」と答えました。ですが、その理由は様々でした。「自分が足をふんでしまったから、謝る。」「おばさんが怖くてなかなか勇気がでないと思う。だけど、謝りたい。」「ここで謝らないと、この先似たようなことがあっても謝らなくなる。」などなど……。資料の出来事を自分のことと捉え、真剣に考える姿が見られました。「正しいことは相手に関係なく、自分で考えてする」ということを学びました。

最後の振り返りでは、「私はいだんを走ってのぼることがあるので走らないようにしたい。」「正しいことはむずかしいと思ってもやるようにしたい。」「自分は今まであまりごめんなさいを言わなかったけど、これからはちゃんとあやまるようにしたい。」など、正しい行いすることの大切さについて述べていました。



怖かったけど
謝ってスッキリした！

僕だったら自分から
あやまるかな
だって……

